

中國渡磯有

日ハ風殊ニ強ク吹テ浪高カリシマ、日和惡カルベシト言ニ、船子ノ言ニ、此渡リニ潮道三處アリ、潮急ニシテ濟ルコト難シ、日和ナレバ船潮ノ爲ニ漂流テ渡ルコトヲ得ズ、因テコノ如キ風力ニテ濟ト言シガ、イカニモ沖ヘ出、カノ急潮ノ所ニ至リテハ、サシモ大ナル船ノサカシマニ湧カヘリ、流行ク巨浪ニ堪カヌベクアリシガ、強風ニ吹ヌカレ、ソノ浪ヲ凌、三處ノ難行ヲ濟リ著タリ、舟中ノ苦ハ云計ナシト、カノ急潮ノ所ハ、タツビ、中ノ汐、自上トイフナリ、又松前ノ白上山ニ登リ、海面ヲ臨見ルニ、三ノ潮道、海面ニ分リ見エテ、ソノ潮行ノトコロ、海ヨリ隆クアガリテ見ユ、イカニモ海底ニ危石嶮巖ノアルユヘ、海潮モコノ如キヤト云リ、西ノ國ノ海路ニハ見聞セザル事ナリ、

## 〔夫木和歌抄渡二十六〕ありその渡 越中

## 〔萬葉集十ニ古相聞往来歌〕寄物陳思歌

大崎之有儀乃渡延久受乃往方無哉戀渡南、

## 〔萬葉集十七〕哀傷長逝之弟歌一首并短歌○中略

可加良牟等可補底思理世婆古之能宇美乃安里蘇乃奈美母見世麻之物能乎、  
右天平十八年秋九月二十五日、越中守大伴宿禰家持遙聞弟喪、感傷作之也、

## 〔松葉名所和歌集阿〕有儀渡 中

吹風のありその渡り波越て葛の若葉にむすぶ白露

〔善光寺紀行〕明ぬればほどなく水橋といふわたりにうつりぬ、

徒に入だのめなる水はしや舟より外に行かたもなし

〔遊囊賸記二十四〕水橋ハ岩瀬富山ノ兩路皆此渡ニ合ス、往古ハ橋アリケルニヤ、今ハ名ノミシテ、舟ヨリ外ニ行方ナシ、